

広報

ひの 12

2006
No. 635

にぎやかに冬支度。

■地域住民どうしのふれあいを

11月26日、第23回舟場産業文化祭が舟場コミュニティーセンターで開かれ、バザーや野菜の即売、作品展示などが行われました。

センター前広場では恒例のもちつきが行われ、景山町長も飛び入りで参加、初めての4人づきに挑戦しました。また、つきあがったもちを使ったぜんざいも参加者らに好評でした。

財政再建の状況を説明 皆さんからの意見を今後にかす 日野町まちづくり説明会

まちが現在進めている財政再建の状況や、今後のまちづくりについてまちの皆さんに説明し、ご理解とご協力をいただくため、11月22日と25日に「日野町まちづくり説明会」を開きました。

山村開発センターと町公民館の2会場で開かれた説明会には、町長はじめ町関係者と、延べ94人の町民が出席、まちの現状などについての説明の後、参加者との意見交換が行われました。

ここでは、説明会でお示しした内容と、意見交換の様子についてお伝えします。



説明に先立ち、あいさつする景山町長

昨年の説明会から一年
現状とこれからを説明

説明会では、はじめに景山町長が次のようにあいさつしました。

「就任から9ヶ月が経った今、財政再建を第一に取り組んでおり、住民の皆さんに無理をお願いしています。町財政は平成18年度から赤字決算となる見込みであり、当初予算で2億5千万円の赤字が出ることを見込んで予算を編成しました。こうした予算編成は全国でも例は少なく、本町の財政状況をまちの皆さんに知っていただくことも目的のひとつでした。

赤字となった大きな原因は、借金を重ねて様々な事業を行ったことに加え、平成12年の鳥取県西部地震の復興に大きなお金をつぎ込み、それらの返済時期を迎えていることです。さらに三位一体・地方

分権改革と重なり、まちの収入の半分以上を占める地方交付税が年々減額されており、大きな痛手となっています。一日も早い財政健全化のため、職員一丸となって取り組みを進めています。まちの皆さんには負担増もお願いしており、申し訳なく思っています。

この説明会では、昨年の財政推計から1年経ち、皆さんと努力した結果がどうなっているのか、これから先どんなまちづくりを進めていくのかをお示ししたい。夕張市が準用財政再建団体の適用を受けることが決まりましたが、日野町は絶対にそうしてはならないと考えています。そのためにも本日の説明を十分聞いていただき、また意見をいただきたいと思います。」
続いて、吉留助役が現在のまちの財政状況について参加者に説明しました。
(詳細は次のページ)

最新の収支推計では
累積赤字額が改善

ページ下に示したグラフは、
まちが昨年作成した収支推計
と最新の収支推計（10月10日
現在）を比較したものです。

グラフ中の*印は、昨年の
推計での収支差引額の累計額
で、平成23年度には約8億円
の累積赤字を見込んでいたも
のです。

これに対し、最新の推計
（印）では、累積赤字額を
約4億8600万円まで抑え
ることができると見込んだも
ので、昨年の推計と比べ、赤
字額が大きく改善されました。
これは、歳出削減などに
よって平成17年度に1億円以
上の繰越金が出て、平成18年
度の歳入に充てたことが大き
な理由。今年度から公共下水
道・農業集落排水使用料や固
定資産税率の増など、皆さん
に負担をお願いしたことも反
映されています。

また、職員給与などの削減
（職員平均10%、町長約30%
助役・教育長12%及びび9・7
%削減、議員・教育委員・農
業委員の報酬も減額）や職員
の退職（平成17年4月から平
成18年10月までに11人退職）
などによる人件費の削減も影

響いています。

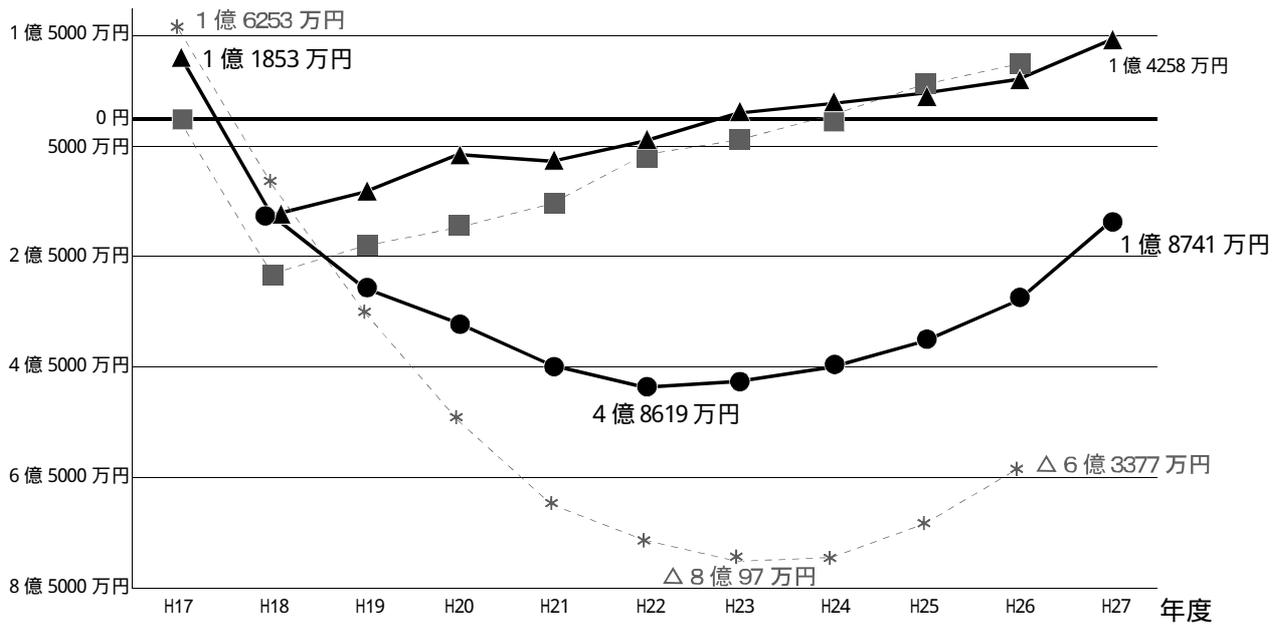
当分続く赤字財政
さらに努力が必要

今回の推計では、まちの単
年度収支は平成23年度から黒
字に転じることを見込んでい
ます（印）が、累積赤字の
解消にはさらに長い期間が必
要です。

また、今回の推計は、あく
まで現状の行政サービスを続
けた場合の推計であり、大
雨・台風などの災害復旧費用
など、突発的な費用負担は含
まれていません。医療費増な
どによる特別会計への繰入金
の増も考えられるほか、地方
交付税の削減など、予想以上
の歳入減の可能性もあり、決
して油断できない状況です。
いずれにしても、少しでも
早い赤字解消のため、今まで
以上に財政再建に取り組む必
要があります。そのためには、
徹底した歳出削減をはじめ、
町税や住宅新築資金などの未
収額（平成18年5月末現在、
計約1億1484万円）の解
消などの課題が多くあります。
まちの皆さんにもさまざま
な負担をおかけしていますが、
まちの将来のため、ご理解・
ご協力をお願いします。

日野町の新旧収支推計比較

現状の行政サービスを続けた場合の推計です。（10月10日現在）



グラフ解説

- ... 単年度予算の歳入から歳出を差し引いたもの（昨年作成した収支推計の金額）
の場合は赤字額
- *--- ... 上記差引額の累計額 = 累積赤字額（昨年作成した収支推計の金額）
- ▲--- ... 単年度予算の歳入から歳出を差し引いたもの（10月10日現在の最新の推計）
の場合は赤字額
- ... 上記差引額の累計額 = 累積赤字額（10月10日現在の最新の推計）

町民・行政協働でまちづくり

まちづくり町民会議を設置します

まちでは、厳しい財政状況において財政再建を進める中、今後のまちづくりの推進に向けて町民と行政が共に考え、行動し、お互いに理解を深めながら議論する場として、「日野町まちづくり町民会議」を設置することとし、まちづくり説明会の中でも概要が説明されました。

総務企画課長 設置の経緯は、日野町では、住民のまちに対する意見の受け皿や話し合いの場がなかったこと。まちづくり町民会議は、まちの皆さんと財政や自立についての情報交換をしながら、これからのまちづくり・地域づくりの意見交換をする場として設置するものです。

町長 町民会議の意見交換の中で良い施策が出れば取り組んでいきます。よその真似でなく、日野町にあったまちづくりをしたい。また、町主導型

でなく、委員長、副委員長は委員の中から互選していただき、委員長が議長となっていただく。会議の記録や問題対応などは町職員が行い、必要に応じて他の団体を招いて話し合いたい。他の自治体の先頭に立って、新しい自治体を築き上げたいと思っていますので、よろしくお願いします。

日野町まちづくり町民会議 概要

委員数 20人(自治組織推薦15人、公募5人)
12月25日まで、委員の推薦受付と公募を行っています

任期 2年間

会議 年間3~4回を予定しています

その他 住民の皆さんに自主的に参加いただくという趣旨により、報酬・旅費等は支給しません

問合せ 役場総務企画課(電話72 0331)



真剣に耳を傾ける参加者

まちの皆さんからの意見を聞く

まちからの説明の後、参加者との意見交換が行われ、まちの皆さんからの町政へのご意見、提言などが多く出されました。

その意見の一部とまちからの回答を紹介します。
まちの推計では、平成23年

度から歳入の地方債を300万円、歳入の普通建設・災害復旧費を700~800万円見込んでいたが、災害が起きたらオーバーするのではないかと。

助役 地方債と普通建設・災害復旧費については、平成19年度以降歳出ししないといけないもの、公団管や県営の農林道の負担金の決まったものだ

けです。災害復旧は計上していませんが、今後災害が無いのかと言われるとウソになる。今年も7月に豪雨がありまして。そのためにも、1億8千万円の基金(まちの貯金)をもっており、何かのときに取り崩して使いたいと考えています。

所得税、健康保険、介護保険など、今後町独自の税の値上げはあるのか。保育所の統合については、ここ数年ないと思っていたが、町長、議会からも話があった。黒坂の町から中学、高校、さらに保育所がなくなると、小学校がなくなったら何もなくなる。せめて小学校は黒坂に統合するつもりで考えてほしい。

総務企画課長 今後の住民負担について、今後ごみ袋の値上げを考えているところです。
住民課長 固定資産税の0.1%値上げは、平成18年度、27年度までの10年間限定のもです。税については、平成19年度から国による税制改正が行われます。(詳しくは6~7ページを参照)

町長 小学校統合については、皆さんが同じ気持ちだと思

ます。子供の声が聞こえない町は本当に寂しい。統合問題はいろいろと模索している最中です。この声を教育委員会に伝えてもらいたいと思います。

将来、財政再建が終わったときに集落が生き残れることをしてほしい。まちづくり町民会議がその一つかもしれないが、行政としても考えてほしい。委員でない人も出席して意見を述べる場にしてほしい。また権限を持たせてほしい。やるからには、責任ある人が集まって、やれるような場にしてほしい。

町長 おっしゃるとおりです。今こうした事態に陥ったのは、行政主導でまちづくりを行ってきたためだと考えます。役場の人間が作ったものが必ずしも立派とは言えない。皆さんの意見の中にピカッと光るものがあります。そういう人を町民会議に推薦していただきたい。住んでいる人が元気になる、そんな意見を皆さんから出し合っていたらいいと思います。

現在、平成19年度予算を手がける時期でもあり、当初の

2億5千万円の赤字に加え、病院の負担、住宅新築資金などの未収額も膨らんでいる。来年度予算の骨格は考えているのか。

助役 今までは基金を取り崩して収支を合わせていたために実態が分かっていただけなかったので、今年度当初から赤字予算を計上しました。平成19年度の予算も、推計では単年度の収支がまかなえないので、今年度以上に赤字が膨らむことが予想されます。今回説明したことを忠実に予算化し、さらに赤字が減るよう総額30億円を切る予算としたと考えています。

ひのつこ保育所と黒坂保育所が合併すると、保育所園児の送迎に困り、通園できないなどの問題が起きてくる。NPO法人格で福祉有償運行ができる特区申請をして、園児の送迎ができないか。運転手は団塊世代などのボランティアで行えば、保育所送迎の便宜が図れると思う。

健康福祉課長 福祉有償運行の特区申請をとのことですが、今年10月から特区申請しなく

ても福祉有償運行ができるようになりまし。身体等に障害があり、公的交通機関が使用できない、交通手段を持たない人について、登録制により西部地区一円で運送が認められています。すでに日翔会、町社会福祉協議会が実施していますが、現在、園児は対象として認められていません。

明るいまちづくり、元気が見えてきたようだが、推計では赤字となる平成23年（2011年）にはアナログテレビ放送が終了し地上波デジタル放送がはじまる。ケーブルテレビやアンテナの支援などの経過、計画があれば教えてください。

総務企画課長 地上波デジタル放送は、今年10月から日南町のケーブルテレビでは視聴できるようになっています。先日、ケーブルテレビ会社との打ち合わせをしたところ、整備費用が4億数千円かかるとのことでした。価格も下がってきていますが、現在の現状では難しいと思われます。各集落のテレビの共聴については、NHKが関わっているので、最低でも5チャンネル

の確保に努力したいと思えます。携帯電話の不感地区解消も県や事業者にお願ひしていますが、採算面で難しい点があります。NTTドコモによるアンテナを増やす計画もあるようです。

町営バスについて、午前中の便が少なく不便である。もう一便でも増やすことができないか検討してほしい。

総務企画課長 町営バスは1日4便。基本的に学校の時間に合わせて運行しています。8月から小原、11月から三土に運行を始めるなど、利用しやすいバスを目指しています。町長 町営バスは、現在年間約1300万円の委託料で日本交通に委託して運行しています。運賃収入は町の収入と



今年1月から運行を始めた町営バス

なり、見込みでは1年で700万円くらいになると見込めます。11月から運行を始めた三土では集落あげて歓迎していただき、運転手に花束贈呈、車内も満員となりました。どうぞ気軽にバスを利用していただきたい。そして時間待ちには町図書館を利用してください。県内でも蔵書が多く立派な図書館です。

職員が住民の目線に立っているのか。役場に行っても、「金がない」の大義名分ではないか。職員の意識改革をしてほしい。

町長 職員の意識改革の基本は笑顔であいさつすること。心から笑顔で接すれば、お互い町民が一つになれます。私が就任してすぐに「笑顔であいさつを」と職員に言いました。最初は表情も硬かったですが、今は改善されてきていると感じます。住民の皆さんからも指摘していただきたいと思います。

多くのご意見ありがとうございました。

あなたの住民税（町民税・県民税）が大きく変わります

税源移譲により、平成19年から所得税と住民税の税率が変わります

何がかわるの？

地方分権を積極的に進めていく「三位一体改革」の柱といえるのが「税源移譲」です。

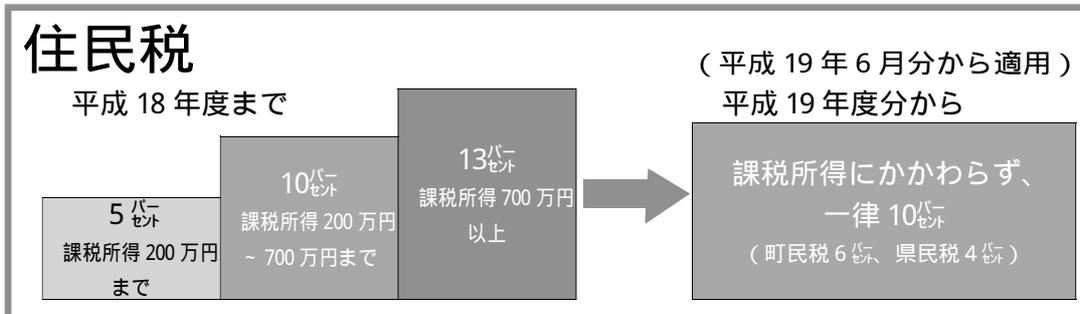
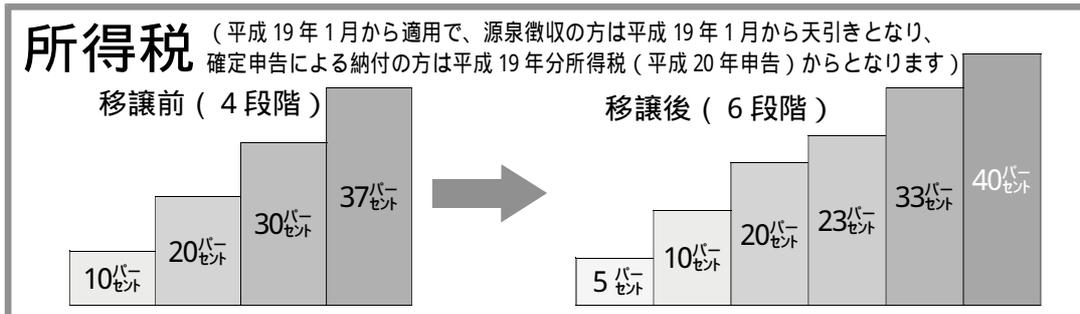
税源移譲では、所得税（国税）と住民税（地方税）の税率を変えることで国の税収が減り、地方の税収が増えることとなります。約3兆円の税源が国から地方へ移譲されます。

どう変わるの？

所得税
4段階の税率を6段階に細分化（所得税と住民税を合わせた税負担が変わらないよう制度設計）

住民税
3段階の税率から一律10パーセントに（町民税6パーセント、県民税4パーセント）

ほとんどの人は平成19年1月分から所得税が減り、そのぶん6月分から住民税が増えることとなります。しかし、税源の移し替えなので、「所得税+住民税」の負担は基本的には変わりません。



（モデルケース）税源移譲による負担変動（年額）

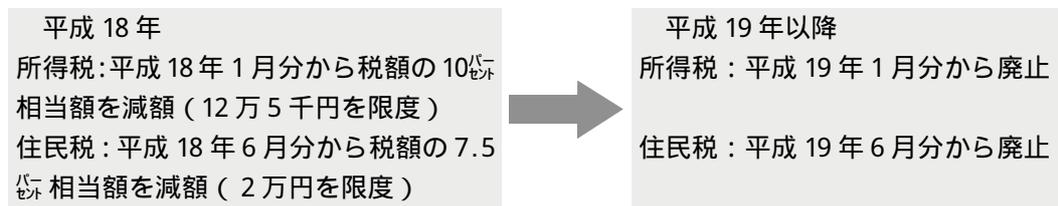
独身者の場合

給与収入	税源移譲前			→	税源移譲後			=	負担増減額
	所得税	住民税	合計		所得税	住民税	合計		
300万円	124,000円	64,500円	188,500円		62,000円	126,500円	188,500円		0円
500万円	258,000円	163,000円	421,000円		160,500円	260,500円	421,000円		0円
700万円	474,000円	307,000円	781,000円		376,500円	404,500円	781,000円		0円

一定の社会保険料が控除されるものとして計算しています。
このほか、実際の負担増減額には、平成19年から定率減税が廃止されるなどの影響があることにご留意ください。（詳しくは左のページをご覧ください）

定率減税を廃止

平成 11 年から、景気対策のために暫定的な税負担の軽減措置として導入されていた定率減税が、最近の経済状況を踏まえて廃止されます。(所得税は平成 19 年 1 月分、住民税は平成 19 年 6 月分から)



(モデルケース) 夫婦 + 子ども 2 人、給与収入 700 万円(年額)

平成 18 年
住民税 196,000 円
・定率減税 14,700 円
所得税 263,000 円
・定率減税 26,300 円
合計 418,000 円

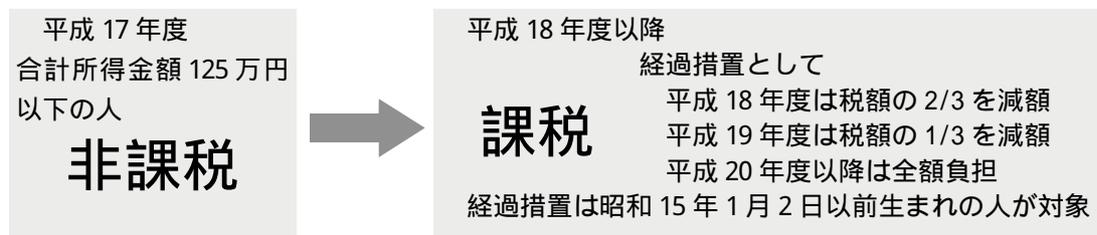
平成 19 年
住民税 293,500 円(+ 97,500 円)
・定率減税 廃止(+ 14,700 円)
所得税 165,500 円(- 97,500 円)
・定率減税 廃止(+ 26,300 円)
合計 459,000 円(+ 41,000 円)

()内の数字は前年度比の金額。
 子どものうち 1 人が特定扶養親族に該当するものとしています。また、一定の社会保険料が控除されるものとして計算しています。

住民税の老年者非課税措置を廃止(経過措置があります)

平成 17 年 1 月 1 日現在、65 歳以上の人(昭和 15 年 1 月 2 日以前に生まれた人)で、前年の合計所得金額が 125 万円以下の方は、平成 17 年度まで住民税が非課税でしたが、年齢にかかわらず公平に負担を分かち合うという観点から、この措置が平成 18 年度から廃止されました。

ただし、急激な税負担を緩和するため、経過措置がとられています。



(モデルケース) 70 歳独身、年金収入 200 万円(年額)

平成 17 年度
住民税 非課税
所得税 34,800 円
・定率減税 6,940 円
合計 27,840 円
【税額 27,800 円】

平成 18 年度
住民税 19,900 円
・定率減税 1,500 円
・(住民税 - 定率減税) × 2/3 12,267 円
所得税 34,800 円
・定率減税 3,480 円
合計 37,453 円
【税額 37,400 円】

平成 19 年度
住民税 37,300 円(+ 17,400 円)
・住民税 × 1/3 12,434 円
所得税 17,400 円(- 17,400 円)
合計 42,266 円
【税額 42,200 円】(+ 4,800 円)

一定の社会保険料が控除されるものとして計算しています。

平成 20 年度以降は、経過措置が廃止となり、住民税 37,300 円と所得税 17,400 円の合計 54,700 円で、平成 19 年度に比べ、12,500 円の増となります。(各モデルケースの住民税(年額)は所得割に係るもので、この他均等割が課税されます)なお、土地の譲渡所得や株取引などの所得がある方は計算が異なります。

税制改正について、詳しくは役場住民課(電話 72 - 0333)までお問合せください

まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題を
お寄せください。
★役場総務企画課まで（電話72-0331）

ふるさとの味を満喫

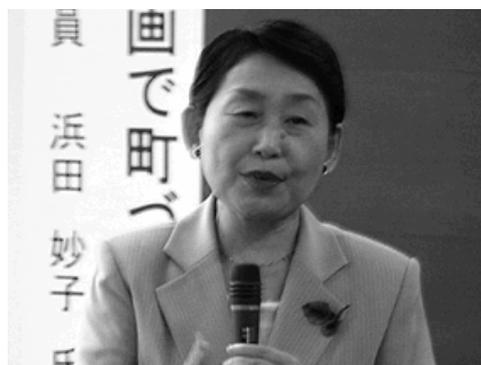
ひの郷会ふるさと交流会

関西在住の日野町出身者の懇談会「ひの郷会」のふるさと交流会が、11月11日と12日の2日間開かれ、会員22人が日野町を訪れました。

会員らは、11日朝大阪をバスで出発、金持神社、サワガニ養殖場、農産物加工所「大夢多夢」を見学した後、リバーサイドひので町長はじめ町関係者やJA、おしどりグループらとの懇親会が開かれ、まちの特産品に舌鼓を打ちながら、町政などについて意見交換しました。



年に一度懐かしい顔ぶれがそろう



「隣人のことをどれだけ知っていますか」と話す浜田さん

人としての生き方を語る

男女共同参画研修会

誰もが安心して暮らせるまちをめざそうと、11月12日、町男女共同参画推進会議研修会が開発センターで開かれ、約40人が参加しました。

今回は、講師に元山陰放送アナウンサーで県議会議員の浜田妙子さんを迎え、「男女共同参画で町づくり」と題して講演が行われました。浜田さんは、会場の参加者と対話しながら、自分の身近な人とのかわり方などを通して、人間のあり方や、みんなが共に安心して暮らせる地域づくりについて語りました。

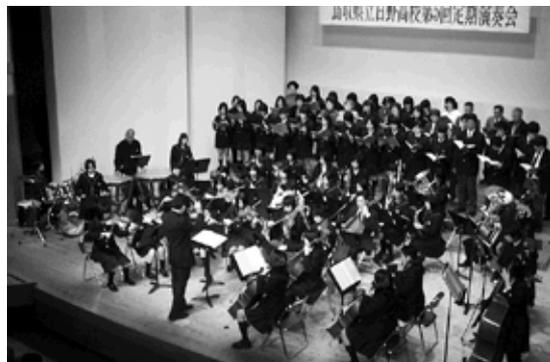
学習の成果など披露

日野高校定期演奏会

日野高校音楽系列の生徒らを中心に学習の成果を発表する日野高校定期演奏会が、11月18日、町文化センターで開かれました。

当日は、合唱団おしどりたちと日野中学校吹奏楽部も特別出演し、合唱、吹奏楽、弦楽合奏が行われました。

演奏会の最後には合同演奏が行われ、出演者全員、約70人による迫力あるハーモニーに、聴衆からは大きな拍手が送られました。



全員による華やかなフィナーレ

18チームがタスキをつなぐ

町駅伝競走大会

11月18日、第46回体力づくり町駅伝競争大会（日野町体育協会ほか主催）が根雨小学校で開かれ、18チームが参加しました。

競技は、小学生から一般の各クラスに分かれ、根雨小学校を発着点にした10キロ、14キロの3コースで行われました。

選手たちは、気温の低い中力走し全員が完走、沿道からは声援が送られていました。

大会結果（優勝チームのみ掲載）
小学生の部 優勝〃根雨サッカークラブ
中学男子の部 優勝〃野球部
A 中学女子の部 優勝〃全力Girls
一般の部 優勝〃チーム走る仲間たち
高校男子の部 優勝〃日野高校Aチーム



白いテープが待つゴールの瞬間



各地で講演活動が続ける三島さん

誰もが笑顔で暮らせるまちを

男女共同参画研修会

11月25日、郡男女共同参画連絡会主催の研修会が開発センターで開かれました。

今回は、講師に瑠璃光山泉龍寺住職の三島道秀さん（黒坂）を迎え、「心の笑顔〜心から笑顔になつていきますか〜」と題して講演が行われました。

三島さんは、自分の子育ての経験や最近のいじめ問題などを交えながら、「子育てには何より親が笑顔でいることが大切」などと語りかけ、集まった約40人の参加者は、三島さん独特のユーモアを交えた温かい語り口で綴られる話に耳を傾けていました。

21世紀のまちづくりを考える

生涯学習まちづくり大会

12月10日、町生涯学習まちづくり大会（町主催）が町文化センターで開催され、約150人が参加しました。大会では、地域防犯・生活安全パトロール協議会と黒坂地区コミュニティ推進協議会の実践発表や、小学生らによるアトラクションが行われました。

また、愛媛大学非常勤講師の若松進一さんを講師に迎え、「生涯学習とまちづくり」と題した講演が行われました。若松さんは、ここ10年での社会の変化や、人の幸せとは何かなどについて語ったほか、「生涯学習は社会の変化を学び、それを人生に活かすこと。皆さんも読んで・聞いて・見たことをぜひ書いて・話して、実践して欲しい」と訴えました。



国交省認定「観光カリスマ」でもある若松さん

町民ミュージカルに助成金

ごうぎん鳥取文化振興財団



まちの文化振興に支援

5年目を迎えた町民ミュージカルの活動に役立てて欲しいと、ごうぎん鳥取文化振興財団から、11月15日、町民ミュージカル実行委員会、田口享実行委員長に助成金が手渡されました。

田口委員長は、「まちの財政も厳しい中、助成をいただけて本当にありがたく思っています。これを励みに本番には良いものが見せたいような頑張りです」と話しました。

差別のない明るいまちづくりを

人権擁護委員事業所訪問



一人ひとりの人権意識を育てていきましょう

一人ひとりが人権を尊重する社会を目指そうと、12月4日から10日まで、第58回人権週間が行われました。

まちでは、5日に人権擁護委員の山田厚弘さんと鳥居良光さんによる事業所訪問が行われ、町内の各事業所でチラシを手渡ししながら、人権尊重を訴えかけました。

人権擁護委員は、国からの委嘱を受け、月1回の人権相談を行っているほか、広報活動などの啓発を行っています。

写真付き住民基本台帳カードの活用を

写真付き住民基本台帳カードは、行政機関や金融機関などの窓口で身分証明書の提示を求められた際に、運転免許証やパスポートをお持ちでない方も公的な証明書として使えます。

カードには、生年月日、性別、氏名、住所の必要最小限の情報が記載されます。また、写真なしのカードも選ぶことができます。

カードは1枚500円で、役場窓口で交付します。(10年間有効)

さらに、自宅のパソコンから行政機関に対してインターネットを使って申請や届出ができるサービスを利用する際に、申請者の成りすまじや申請内容の改ざんなどを防ぐためのセキュリティ確保の手段(電子署名)を提供する公的個人認証サービスを利用することができず。(1件500円で、3年間有効)

問合せ 役場住民課(電話 0333)

放送大学4月入学生募集

放送大学は、テレビで授業を行う通信制の大学です。働きながら学びたい、生涯学習に興味があるなど、様々な目的で、幅広い世代の人が学んでいます。

現在、平成19年4月入学生を募集しています。詳しい資料を送付しますので、お気軽にお問合せください。

募集学生の種類

教養学部 科目履修生(6か月在学し、希望する科目を履修)、選科履修生(1年間在学し、希望する科目を履修)、全科履修生(4年以上在学し、学士の学位の習得を目指す) 大学院 修士科目生(6か月在学し、希望する科目を履修)、修士選科生(1年間在学し、希望する科目を履修) 受付期間 平成19年2月15日(木)まで

資料請求(無料)・問合せ先
〒680 0845 鳥取市
富安2 138 4(鳥取市
役所駅南庁舎5階)
放送大学鳥取学習センター
(電話0857 37 2351)

放送大学ホームページ

<http://www.u-air.ac.jp>

鳥取県産ナタネ油
ブランド名募集

鳥取油田開発計画推進機構では、鳥取県産のナタネ油生産などを行います。現在、鳥取県産ナタネ油のブランド名を募集しています。

募集名称 県内産ナタネで作られたナタネ油にふさわしい名称で、誰もがこの油を使っているから、サラダなどに使いたくなるようなおもしろいブランド名

対象 誰でも応募できます
応募方法 応募用紙に作品を記入し、平成19年2月28日までに事務局まで郵送、FAXなどで応募する

その他 入選作品にはナタネ油の賞品あり

応募用紙請求、申込先 〒680 0032 鳥取市茶町204 鳥取油田開発計画推進機構事務局(株)アイ、ヒューマンネット(電話0857 22 4620、FAX 0857 22 4621)

年末年始の各業務日程

役場・図書館業務

役場一般業務と図書館業務は、12月29日(金)～1月3日(水)まで休みます。

可燃ごみの収集

12月30日(土)まで可燃ごみの収集をします。年末年始は12月31日(日)から1月3日(水)まで休みます。

クリーンセンターくぬぎの森へのごみの持ち込み

12月30日(土)午前11時まで持ち込みする量は、軽トラック1杯分以内にしてください。

問合せ クリーンセンターくぬぎ

の森(電話74 0333) 役場産業振興課(電話72 2101)

リサイクルプラザ(伯耆町)への資源・不燃ごみなどの持ち込み
12月29日(金)午後5時まで

し尿汲み取り

12月29日(金)午後から、1月4日(木)まで休業します。早めにお申込みください。

問合せ いづはら日野営業所(電話75 3701)

町営バス

12月30日(土)～1月3日(水)まで運休します。

おしどりバス

根雨駅と日野病院の間を無料運行している「おしどりバス」は、12月29日(金)から1月3日(水)まで運休します。

日ノ丸バス(米子線)

12月31日(日) = 起点を午後6時1分発以降の便は運休。1月1日(月)～3日(水) = 起点を午前9時59分発以前と、起点を午後5時1分発以降の便は運休。

1月1日～3日の間は、日・祝日用のダイヤを基本とします。

問合せ 日ノ丸自動車(株)米子支店(電話0859 32 2123)

積雪時の町道閉鎖区間について
冬期間の積雪時には、次の町道を閉鎖します。ご迷惑をおかけしますがご協力をお願いします。

- 町道日野金城1号線(野田地区を除く全線)
- 町道日野金城2号線(全線)
- 町道上菅花口線(全線)
- 町道濁谷滝山線(バス路線を除く全線)
- 町道鶴の池線(長楽寺から主要地方道日野溝口線合流地点まで)

問合せ 役場産業振興課 建設係
(電話 72-2101)

鳥取県民手帳
2007年版発売中!



1冊 500円
色は、黒、赤、水色の3色
役場総務企画課または役場
黒坂支所で購入できます

産業別最低賃金が改正

12月20日から「鳥取県電気機械器具、情報通信機械器具、電子部品・デバイス製造業最低賃金」が1時間714円に、同じく「鳥取県各種商品小売業最低賃金」が1時間685円に改正されました。

12月20日以降の県の最低賃金は次のとおりです。

鳥取県最低賃金

1時間 614円
発効年月日：平成18年10月1日

産業別最低賃金

最低賃金の名称	最低賃金額	発効年月日
鳥取県電気機械器具、情報通信機械器具、電子部品・デバイス製造業最低賃金	1時間 714円	平成18年12月20日
鳥取県各種商品小売業最低賃金	1時間 685円	平成18年12月20日

詳しくは、鳥取労働局賃金室(電話 0857-29-1705)または最寄りの労働基準監督署にお尋ねください。

鳥取労働基準監督署 電話 0857-24-3211
米子労働基準監督署 電話 0859-34-2231
倉吉労働基準監督署 電話 0858-22-6274

財団法人全日本交通安全協会では、飲酒運転の根絶のため、新たな国民運動として「ハンドルキーパー運動」を展開しています。

「ハンドルキーパー運動」とは、自動車で飲食店に来て飲酒する場合、仲間同士や飲食店の協力を得て酒を飲まない人を決め、その人は酒を飲まず仲間を自宅まで送り、飲酒運転を防ぐ運動です。

年末年始を迎え、飲酒の

機会が増えてきます。酒を飲んで車を運転すると、自制心や判断力などが低下し、悲惨な交通事故を起こすこととなります。

次の4か条を守り、飲酒運転をしない・させないようしましょう。

酒を飲んだら運転しない
運転するなら酒を飲まない
運転する人に酒をすすめない
飲酒運転を許さない

飲酒運転根絶を目指し
「ハンドルキーパー運動」にご協力を



ハンドル
キーパー

日野町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地 1
電話：74-0212 FAX：74-0105
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

1年間の公民館活動の集大成 第7回町公民館まつり

作品展示、イベントなど多くの人でにぎわう

公民館活動グループや地域の方々の学習成果の発表の場として、第7回町公民館まつりを、11月24日から26日の3日間、町公民館を主会場に開きました。期間中は、作品展示、各種教室やイベント、体験コーナー、即売会、お楽しみ抽選会などを行い、多くの来館者で終日にぎわいました。

初の試み「お楽しみ抽選会」



公民館グループの手芸品などの景品が盛りだくさん

今回は、15団体から計155本の景品を提供していただき、お楽しみ抽選会を行いました。公民館ロビーでは、抽選会を前に長蛇の列ができるほどの盛り上がりで、小さなお子さんから大人の方までが「当たれ！当たれ！」と祈りながらクジを引いていました。大盛況に終わった抽選会。これも公民館まつりのために景品を提供していただいた皆さんのおかげです。心から感謝しています。

子ども居場所づくり教室

公民館まつり期間中にも子ども居場所づくり教室を開き、多くの子どもに参加でにぎわいました。



小さな色ガラスなどを使った繊細な作業

子ども七宝焼教室

この教室では、ペンダントやアクセサリーなど小物の七宝焼を体験しました。子どもたちは自由な発想で、大人には思いもよらぬ作品を仕上げ、先生やグループの方々にビックリさせていました。興味のある子どもは意欲的に2作品目に取り組んでいました。



できあがった紙のツリーとニッコリ

子どもクリスマスツリー作り 3回目となる今回も10人以上の子どもが参加、楽しくクリスマスツリーを作ることができました。毎年参加してくれている子どももあり、自分たちで手順よく作業をしていました。今年もとても素敵なクリスマスツリーが完成し、素敵なクリスマスを迎えることができそうです。



青パトによるパトロールを週4回行っています

まちの安全を守るため 会員27人が日々パトロール

日野町地域防犯・生活安全パトロール協議会

吐く息も白い季節がやってきました。

町地域防犯・生活安全パトロール協議会では、雨の日も寒さで凍りつく日も、まちの安全・安心のためパトロールを行っています。

このたび、協議会の趣旨に賛同してくださり、松本利秋さん（秋縄）、比田澄男さん（根雨）が新たに会員として協力してくださるようになり、真住地区初の会員が誕生しました。

また、比田さんの加入により、毎日子どもたちが登下校

する根雨町部の防犯が高まったのではと喜んでおります。

会員の方は、私利私欲のためでなく、ボランティアで町民の安全と安心を守るため、日々パトロールを行っています。健康ウォーキングをしながら、犬の散歩をしながらなど、活動の内容は問いませんがご協力いただける方は事務局（町公民館74 0212）までご連絡ください。

「いじめ」による自殺問題。育成会ができることは…

日野町青少年育成会

冬休みを前にした12月4日、青少年育成会議を町公民館で開きました。

協議事項では、児童生徒の「いじめ」による自殺問題があげられました。いじめられている子どもは、いじめの事実を家族や先生になかなか打ち明けられないといわれています。ひとりで悩んだ末に自殺する、その最悪の事態を防ぐため「子どもの居場所・相談コーナー」を設置しようと考えています。

「家庭の日」今一度見つめなおしてみよう

「家族みんなで話し合い、楽しみあい、協力し合う」

あたりまえなこと、とても大事なことです。しかし、このあたりまえのことを忘れがちになっていませんか？月に一度は、自分の家族のことを考え「家庭の日」を見つめなおしてはいかがでしょうか。

日野町青少年育成会では、毎月第3日曜日を「家庭の日」とし、普及・推進に取り組みしていきたいと思えます。



紙でできたツリーと可愛い人形たちがお待ちしています

公民館ロビー展 華やかクリスマス作品展

生田洋子さん（下菅）の「クリスマスツリー」と、高力千づるさん（黒坂）の「カントリードール」によるクリスマス作品展を公民館ロビーで開いています。展示期間は年内いっぱいを予定しておりますので、どうぞご覧ください。

（展示時間 = 8 : 30 ~ 17 : 30）

グループや個人の絵画、写真、手芸などの作品の出展希望がありましたら町公民館までご連絡ください。

りんぽかん 隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1
 電話：72-1191 (FAX兼)
 E-mail: rinpokan@town.hino.tottori.jp



暮らしの中に人権の輪を広げよう

第29回町解放文化祭

11月10日から12日までの3日間、第29回日野町解放文化祭を下榎隣保館・下榎集会所を主会場に開き、その模様をお伝えします。

【前夜祭】

文化祭に先立ち、前夜祭として、落語家の露の新治さんと腹話術師の千田やすしさんを迎え、「新ちゃんを囲む会」を11月9日、老人憩の家で開き、二人は聞く人をひきつける話術とユーモアで、参加した人たちを笑いの渦にまきこみました。



露の新治さん

【作品展示】

作品展示は、期間中、隣保館学習講座の作品や榎の実学習会での取り組みをはじめ、町内の保育所、小・中・

高校の作品、地区内の方の絵画などの作品を展示して、日ごろの成果を発表しました。



子どもたちの力作がいっぱい

【フリーマーケット・朝市】

下榎女性部によるフリーマーケット・朝市は11日・12日と2日間にあわたり開かれました。

日ごろの仕事に家事にと忙しい毎日を送っている女性部ですが、40代50代を中心に

活動しています。

今年も日野高校・菅福元気邑から味噌や野菜を出品していただき、大盛況でした。

【餅つき】

下榎自治会による餅つき大会は文化祭最終日の12日に行い、つきたてのきねつき餅を雑煮やぜんざいにして、多くの皆さんにふるまわれ



恒例の餅つき大会

ました。近年は近隣地区の親子連れでの参加も多く見られ、解放にむけて少しずつ前進しているように感じられました。

【交流会】

ひのつこ保育所と黒坂保育所は、文化祭の展示を見学した後、腹話術師の千田やすしさんを迎えて下榎集会所で交流会を開きました。



千田やすしさん

千田さんは、「友だちを大切にみんな仲良くしましょ」と、相方の人形のひかる君とのやりとりの中で訴えかけました。

また、マツケンサンバなど歌で子どもたちと一体となつて、腹話術を初めて見る子どもたちを魅了しました。千田さんには、保育士の皆

さんに靴下とスポンジを使って簡単にできるヘビの腹話術人形の作り方も教えていただきました。

小学校との交流会
根雨小学校と黒坂小学校の6年生42人を迎え、展示の見学の後、老人憩の家で交流会を開きました。

交流会では、児童からの文化祭や差別について次のような質問があり、隣保館職員が答えました。

展示作品が差別とどう関係があるのか

どういう気持ちで解放文化祭をしているのか、など。

また、文化祭についての感想も話してくれました。

差別に負けずに頑張ってきたんだなあ。

差別をなくそうと努力をしてきた。

解放文化祭を開いて差別に立ち向かってきた。

などの心を打つ言葉に、職員も声を詰まらせる場面もありました。

次の時代を背負っていく子どもたちに、一日も早い解放を願わずにはいられません。



桜海老と水菜のチヂミ、豆腐ステーキなどを作りました

お礼とお願ひ

町解放文化祭では、町内外から多くの方に参加いただき、また展示作品などのご協力をいただきましたことに感謝しお礼申し上げます。これからも、部落差別をはじめとするさまざまな差別を少しでもなくすよう、職員一同人権啓発に努めたいと思いますので、ご意見などお寄せいただき、またご協力いただきますようお願いいたします。

また、2007年の「部落解放人権尊重力リーダー」を自治会長を通じて全戸配布いたしますので、ご利用いただけますようお願いいたします。

ぽかぽか教室

調理実習をしました

11月16日、下榎集会所でぽかぽか教室が開かれました。

当日は13人が参加し、役場健康福祉課の保健師と栄養士から「低栄養予防指導」について調理実習を通して偏りがちな栄養のバランスなどについて指導を受け、ストレッチで体をほぐした後調理実習をしました。

旬の食材を使って手軽にできる料理ばかりなので、各家庭でもさっそく作ってみたいという声が多くありました。

また、試食会では健康について日ごろ疑問に思っていることや悩んでいることなどを出し合い、心身ともに「ぽかぽか」温まり健康になったようでした。

りんぼかん 隣保館からのお知らせ

新春囲碁・将棋大会参加者募集！
第30回新春囲碁・将棋大会を、平成19年1月7日（日）午前9時から老人憩の家で開きます。参加者を募集しますので、ご希望の方は、1月5日（金）までに、隣保館までお申込み下さい。なお、会費として1,000円を当日集金します。

きゆうかん 休館のお知らせ

12月29日（金）から1月3日（水）まで、年末年始のため隣保館・集会所は休館します。

1月の学習講座予定

- 木工講座＝9日（火）、16日（火）午前9時～ 下榎集会所（講師 原広之さん）
- 編み物講座＝13日（土）午後7時～ 老人憩の家（講師 安達利子さん）
- 生活の知恵講座＝20日（土）午後7時～ 下榎集会所（講師 恩田記子さん）
- 生け花講座＝16日（火）午後7時30分～ 下榎集会所（講師 生田清子さん）

※日程を変更する場合がありますので、初めて参加される方は隣保館までお問合せください。



町政に貢献した皆さんを表彰

第37回 町表彰

今年度、まちの発展に大きく貢献された個人・団体を表彰する第37回町表彰式が、12月4日役場庁舎で開かれました。

今回受賞されたのは、田口享さん（根雨）と、日野中学校吹奏楽部の皆さんです。表彰式では、吉留助役から表彰状と記念品が贈られました。



日野中学校吹奏楽部の皆さん



田口享さん

田口さんは、合唱団おしどりたち、森の子合唱団など、子どもから大人までの幅広い音楽指導を長年続けられているほか、平成14年からは町民ミュージカルの実行委員長としても活躍。まちの文化振興に大きく貢献されました。

日野中学校吹奏楽部は、8月に広島市で開かれた第47回全日本吹奏楽コンクールにおいて銀賞を受賞し、また、11月に東京都で開かれた日本管楽合奏コンテストに出場するなど、全国に日野町吹奏楽の名を広めるとともに、サマーコンサートなど地域に向けた音楽活動により、まちの芸術の普及と発展に寄与されました。

表彰式では、受賞者を代表して田口さんが、今回の受賞は身に余る光栄です。私たちは立場は違いますが、共にまちの文化づくりに努力してきました。これからは、この文化を次世代に伝えていくことが課題ですとあいさつ、受賞の喜びなどを話されました。

環境を守る活動を評価

「住みよい県土づくり表彰」
町内2団体が受賞

安全で美しい環境の中で、人々が生きいきと暮らすことができる地域づくりに貢献した皆さんを表彰する、第6回住みよい県土づくり表彰の表彰式が、11月14日、県民文化会館で開かれ、町内からは2団体が受賞されました。

受賞されたのは、黒坂カワコふれあい公園管理委員会（恩田孝雄代表）と黒坂水産振興組合（頭本尚憲代表）で、県が管理する河川・道路などの施設において、清掃、草刈などの活動実績が優秀な土木施設愛護団体として表彰されました。

まちのサッカー少年が健闘

全山陰少年サッカー選手権大会

鳥取・島根両県での予選を勝ち抜いた少年サッカーチームが競う、第23回全山陰少年サッカー選手権大会（鳥取県・島根県サッカー協会主催）が、11月25日と26日の2日間、境港市スポーツ広場・陸上競技場で開かれました。

大会には両県の代表12チームが参加し、予選リーグと決勝トーナメントが行われました。

日野町からは、根雨小学校の国重幸平さん、佐々木慎太郎さん、田貝薫平さん、西村洸佑さんの4人が、県西部の

混合チーム「ドミーニ」のメンバーとして出場しました。ドミーニは1日目のリーグ戦を突破し、決勝トーナメントに進出。優勝チームの加茂サッカースポーツ少年団と対戦、健闘しましたが、惜しくも敗れました。



「ドミーニ」の選手たち

町民ミュージカル実行委員会では、2007年12月上演予定の町民ミュージカルのストーリー原案を募集します。

ストーリーは、日野町にまつわる話や、日野町をイメージするものなど、日野町を題材にしたものに限りません。原案はあらずじやイメージなどでかまいません。また、時代や場所の設定は問いません。

応募資格 不問（町内外、子どもから大人まで幅広く募集します）

応募規定 A4用紙に横書き。字数、枚数など形式自由。表紙に住所、氏名、電話番号、年齢、性別、職業を記入し右上を綴じる。
応募はひとり何作でも可。
応募作品は下記まで郵送いただくか、町図書館まで持参してください。

応募先 〒689-4503 鳥取県日野郡日野町根雨 129 1 日野町文化センター

「町民ミュージカルストーリー原案募集」係

締切り 平成19年1月31日（水）当日消印有効

発表 平成19年2月、入賞者に通知します。また、「広報ひの」でもお知らせします。

賞金 受賞作に2万円（該当者なしの場合は、佳作を数点選び、賞金を振り分けます）。

その他 募集した原案は舞台化の際、脚色を加える場合があります。

問合せ 文化センター内 町民ミュージカル実行委員会（電話72-1300）

2007年日野町民ミュージカルストーリー原案募集！

文化センター だより

図書館・ホール森の音楽隊

TEL 72-1300 FAX 72-1320

E-mail hinotosyo@book.town.hino.tottori.jp

月～金 午前9時30分～午後6時

土・日 午前9時～午後5時

カレンダー

○印が休館日です

1月

日	月	火	水	木	金	土
	①	②	③	4	5	6
7	⑧	⑨	10	11	12	13
14	15	⑬	17	18	19	20
21	22	⑳	24	25	26	27
28	29	⑳	㉑			

図書館の展示コーナー

県展入選作品展

（町内の入賞者の展示です）

写真の部

1月4日（木）～15日（月）

（生田英明さん、長谷川利子さん、牧田教介さん、松本利秋さん、西村昌敏さん）

絵画・デザインの部

1月17日（水）～29日（月）

（頭本俊子さん、川上晋次郎さん、生田美波さん）

図書館おはなし会

1月20日（土）10:00～

場所：図書館絵本コーナー

1月のおはなし

ぽかぽかあたたまる本

お正月のおはなしほか（参加無料）

木のおもちゃづくり

1月21日（日）10:00～

場所：図書館車庫

干支の「いのしし」の組み木などをつくろう！（材料費実費）

雑誌寄贈のお願い
雑誌を定期購読していませんか？
町図書館の開館当初は、雑誌コーナーには72種類の雑誌が並んでいましたが、財政事情により現在では38種類の雑誌を購入、10種類をまちの皆さんから寄贈いただいています。雑誌は新しい情報源として大切です。
町図書館では、平成19年4月から1年間、月刊誌なら発売後1か月以内、週刊誌なら1週間以内に定期的に寄贈いただける方を募集しています。
ご連絡・お問合せは町図書館（電話72-1300）までお願いします。
なお、雑誌の内容によっては寄贈をご遠慮する場合があります。

1月のホールイベント

お芝居くらぶさん・ふいーんど（＾O＾）
冬・チャリティ公演

真昼の月

とき 1月20日（土）19:00～

21日（日）14:00～

ところ 町文化センター / ホール森の音楽隊

入場料 前売500円（小学生以上）

当日800円（高校生以上）

チケットは町図書館で発売中

詳しくはHPへ <http://www.sunfie.biz>

CAST
入澤 珠美
徳岡 美沙
中田 早文
入澤 眞人
中尾 俊博
田中 秀美
長田 重梨沙

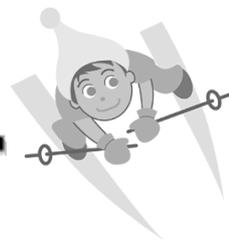
1月20日（土）19:00～（19:00開演）
21日（日）14:00～（19:00開演）

日野町文化センター 第一ホール
入場料 前売500円（小学生以上） 当日800円（高校生以上）
チケットは町図書館で発売中
詳しくはHPへ <http://www.sunfie.biz>

1月

くらしのカレンダー

JANUARY (睦月)



1 月	元旦 (役場業務、ごみの収集は休みます)	16 火	隣保館木工講座 下榎集会所 午前9時~ 隣保館生け花講座 下榎集会所 午後7時30分~
2 火	役場業務、ごみの収集は休みます	17 水	行政相談 開発センター 午前9時~正午 ペットボトルの収集日 (4・5・6班)
3 水	役場業務、ごみの収集は休みます	18 木	
4 木		19 金	
5 金	人権相談 開発センター 午後1時~午後3時 心配ごと・子育て・高齢者生活相談 開発センター、老人福祉センター 午後1時~午後3時	20 土	隣保館生活の知恵講座 下榎集会所 午後7時~
6 土		21 日	
7 日		22 月	古紙の収集日 (黒坂・菅福地区)
8 月	成人の日 (ごみの収集は休みます)	23 火	
9 火	乳児健診、BCG予防接種 開発センター 受付: 午後1時15分~午後1時30分 月曜と火曜の地区の可燃ごみを収集します 隣保館木工講座 下榎集会所 午前9時~	24 水	ペットボトルの収集日 (7・8・9班)
10 水	ペットボトルの収集日 (1・2・3班)	25 木	不要犬・猫引取り日 日野保健所
11 木	年金相談 開発センター 午前10時~正午、午後1時~午後3時 不要犬・猫引取り日 日野保健所	26 金	
12 金		27 土	
13 土	隣保館編み物講座 老人憩の家 午後7時~	28 日	
14 日		29 月	古紙の収集日 (根雨・日野地区)
15 月	健康相談 町公民館 受付: 午前9時~午前10時 不燃・資源ごみの収集日 (黒坂・菅福地区)	30 火	
16 火	1歳6か月児、2歳児、3歳児健診 開発センター 受付: 午後1時15分~午後1時30分 不燃・資源ごみの収集日 (根雨・日野地区)	31 水	町県民税4期分、国民健康保険税7期分、 介護保険料7期分納期限

ミニギャラリー情報 (町内の展示コーナーを紹介します)

山陰合同銀行根雨支店: 「町墨彩会展」12月26日~2月2日まで
日野総合事務所: 「メンタルヘルスパネル展」1月4日~31日まで
蔵美術館: 「冬の大山~岡野三郎絵画展~」~3月まで
根雨宿まちかど美術館 (根雨各所に作品を展示): 「日野郡そばの情景フォトコンテスト作品展」~1月中旬まで

直通電話	総務企画課 72 0331	住民課 72 0333	出納室 72 2105	健康福祉課 72 0334
	産業振興課 72 2101	黒坂支所 74 0211	公民館 74 0212	議会事務局 72 0335
	農業委員会 72 2103	教育委員会 72 2107	文化センター 72 1300	給食センター 72 1167
	地域包括支援センター 72 1852	ひのっこ保育所 72 0238	黒坂保育所 74 0225	下榎集会所 72 1191
	役場代表番号 (夜間・休日) 72 0331			

町長の定期便 第9回

これからのまちづくりにご協力を

美しかった山々の紅葉も終わり、天気も冬型となり一段と寒くなってきました。

11月22日に山村開発センターで、25日には町公民館で、日野町まちづくり説明会を開きました。

昨年の住民説明会では、厳しい財政状況をまちの皆さんに公表し、大変驚かれたことと思います。自主再建に向けてのいろいろな取り組みをお示しながら決意を表したところではありますが、その後1年を経過し、現状はどうなっているのかも含め、財政推計をやり直して説明しました。また、両会場で約100人の出席をいただき、活発な議論をいただきました。

新しい推計では累積赤字額が改善されています。しかし、平成22年までは単年度赤字が続く予定です。今後さらに行財政の見直しを進め、一年でも早い赤字体質からの脱却を目指し、決して準用再建団体にならないよう気を引き締めて再建に取り組みます。また、新しいまちづくりをまちの皆さんと共に考え、行動する議論の場として、「まちづくり町民会議」を設置することにいたしました。現在、委員の募集を行っています。参加を希望される方の積極的な取り組みをお願いいたします。委員長は委員の互選で決めていただき、代表として総理していただきます。

まちの主権者は町民です。皆さんと共に明るいまちを築いていきたいと思っております。

これからの日野町のまちづくりにお力を。

(12月6日記)

日野町長 景山 享弘



オリーブオイルとにんにくの香りのトマトソースが決め手

町食生活改善推進協議会さん オススメ料理 ③④



【材料】4人分

- 鮭(4切) ● お好み焼き粉(大さじ1~1.5)
- サラダ油(大さじ2) ● じゃがいも(2個)
- ブロッコリー(1/2個) ● トマト(中1個)
- A【サラダ油(大さじ1)、塩(小さじ1)、うま味調味料(小さじ1)】
- B【青じそみじん切り(4枚分)、にんにくすりおろし(1片分)】
- C【レモン汁(大さじ3)、砂糖(小さじ2)、塩(少々)、白ワイン(大さじ2)、オリーブオイル(大さじ3)、こしょう(少々)、うま味調味料(少々)】

【作り方】

- ① 鮭にお好み焼き粉をまぶす。
 - ② フライパンにサラダ油を熱し①を並べ、中火で焦げ目をつけて両面を焼き、ふたをして蒸し焼きにする。
- じゃがいもとブロッコリーは一口大に切り、Aを加えた湯でブロッコリーをゆでてざるに取り、次にじゃがいもをゆでて粉ふきいもを作る。
- トマトは湯むきして種を取り5mm角に切る。Cを混ぜ合わせてBを加え、④を入れて混ぜる。皿に②を盛り⑤をかけ、③を付け合わせる。

鮭のプロヴァンス風

■ 1人分栄養量

- ▶ エネルギー 300kcal ▶ たんぱく質 21.3g
- ▶ 脂質 13.4g ▶ 塩分 0.9g



『りっぱな姿ね。お父さん』『お母さんもすてきだよ』
撮影 稲田匡宏さん(根雨)

【連絡先】 オシドリグループ事務局
森田(電話72 0271)

早起きは三文の得
「きれいなもんだのう」「この世のものとは思われん」「遠くから来たかいがあったね」老夫婦様の会話が聞こえてきます。目の前にオシドリ700羽。胸を膨らませ「ボク大きいぞ」とアピールしているオス。そっと寄り添っているメス。なんともほほえましい光景です。午前7時、長崎や鹿児島からのお客様が大喜びされていました。やはり早起きは三文の得。納得です。皆さんもぜひお出かけください。

オシドリ

VOL. 106

